

## 1. 学習指針

第4学年後期から第5学年で学ぶ臨床実習科目のうち、臨床医学の根幹となる科目はすべて第4学年後期から第5学年に配当されている。第5学年から第6学年に配当されている臨床実習科目は、第4学年後期から第5学年で学んだ、いわゆる基幹科目の知識の土台があって初めて理解できる。

(1)臨床実習を学びながら、常にその疾患の表面的な知識のみでなく、その基にある解剖病理、病態生理等までさかのぼって勉強する習慣を身につけてほしい。常に器官系別総合、基礎医学総論のノート、教科書等を読みかえして、根本からその疾患を理解しておくことが重要である。

(2)各科の臨床実習期間中に実際にみることのできる疾患は限られている。実際にみられた疾患のみを勉強することで、こと足れりとしてはならない。臨床実習でまわった科に関連した疾患については、その期間内にすべてマスターしつくしてしまう位の日常の努力が不可欠である。

(3)臨床実習では、患者さんの持つ悩みを理解し、医師と疾患との接触という技術的なもののみでなく、医師と病気を持った患者さんとの人と人との“ふれあい”が医療の原点であることを学びとって欲しい。

(4)臨床実習を通して、病院に於ける医療というものは、いかに多職種のメディカルスタッフのチームワークの上に成り立っているかを学んで欲しい。

## 2. 臨床カリキュラム

臨床実習は原則として全日の出席を必須とし、欠席した場合は診療科の判断によりレポート課題の提出や再実習を課す場合がある。

### A. 臨床実習

(1)教科目を実習期間により4週科目、3週科目、2週科目、1週科目に分ける。

4週科目：外科

3週科目：産婦人科、小児科、精神科、総合診療医学

2週科目：消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌代謝内科、腎臓内科、リウマチ膠原病・感染内科

1週科目：衛生・公衆衛生、臨床検査診断学、救命救急医学、形成外科・美容外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、放射線科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理学臨床実習

(2)すべての科目を合格することが第6学年共用試験医学系臨床実習後OSCEの受験資格となる。

(3)臨床実習本試験の結果、不合格者及び実習欠席により、追・再実習を行う者は、以下のとおり予め決められた期間（追・再実習期間）に実習及び追・再試験を受けることとする。また追・再試験科目数が追・再実習期間を上回る場合は、実習を受けることはできず、原則として同一年度内同一科目1回限りとする。

3.4週科目：12日間～15日間

2週科目：8日間～10日間

1週科目：4日間～5日間

(4)実習途中でのグループの再編成はしないこととする。

(5)各科の臨床実習で修得すべき事項、具体的なスケジュール、注意事項等については各科の項目を熟読すること。

### B. 選択実習

(1)各期間異なる実習科目を履修することとし、選択実習試験は科ごとに実習期間内に行う。

(2)選択実習本試験の結果、不合格者及び実習欠席により追・再実習を行う者は、予め決められた期間（追・再実習期間）に、実習及び追・再試験を受けることとする。原則として、同一年度内同一科目1回限りとする。追・

再実習期間は、8日間から10日間とする。

追・再試験科目数が追・再実習期間を上回る場合は、実習を受けることができず、留年となるので、予め注意しておくこと。

なお、学外実習で不合格となった場合は、教育委員会の指示に従うものとする。

(3)追試験及び再試験の成績は下記の通り扱う。

追試験：79点を上限とする。

再試験：69点を上限とする。

### C. 試験・進級・卒業

(1)臨床実習試験は各科ごとに実習期間内に行う。不合格者及び実習欠席にて受験資格のなかった者は、追・再実習期間中に、追試験又は再試験を行う。

(2)病気その他正当な理由により試験を受けることができなかった者は、試験終了後10日以内に所定用紙の追試験願及び試験欠席届を医学部長あてに提出すること。この期間中に願い出ない場合は再試験として取り扱う。

(3)追試験及び再試験の成績は下記の通り扱う。

追試験：79点を上限とする。

再試験：69点を上限とする。

(4)第5学年時の不合格科目を有している者は、第6学年の再実習期間に再履修しなければならない。なお、再履修科目の再実習は実施しない。

(5)第6学年への進級要件は、進級・卒業・留年規程を参照すること。

(6)進級・卒業要件を満たしても、アンプロフェッショナルな行為をした者は留年となる場合があるから、充分注意すること。

## 3. 臨床実習の際の心得

### 基本的事項

(1)苦痛や悩みを抱いて入院している患者さんにとっては、学生に診察される事は決して快い事ではない。常に学ばせていただいているという感謝の気持ちと暖かい思いやりを持って接して欲しい。

(2)“患者中心の医療”が北里大学病院の基本理念である。医師、看護師、医療技術者、その他多くの職種の職員全員が素晴らしいチームワークを行って本院の診療が成り立っている。学生は、医師からの指導のみを受けるのではなく、この医療チームの中で医療の実習を受けているのだということを常に認識してほしい。

学生諸君は以上の基本理念を実行するために、以下の具体的注意事項にあげてあることを厳守されたい。

### 具体的注意事項

(1)服装・身だしなみ

①大学で指定したユニフォームを上下着用すること。(原則としてユニフォーム以外のものの着用は厳禁であるが、紺、黒、のストラックスーセンタープレスのあるもの一は可) ※男子学生は、ウエストできちんとベルトをし、いわゆる『腰ばき』は厳禁である。

②ユニフォームは常時清潔なものを着用し、見やすい場所に臨床実習生(医学)証をつけること。

③靴は白又は白に近いスニーカーを履くこと。

④病棟・外来をまわる際、ユニフォームの上に羽織る上着は、大学指定のもの以外は着用しないこと。

⑤ひげはきちんと剃り、においの強い化粧品や整髪料はつけない。清潔感のある髪型とする。

⑥化粧は節度のあるものとし、アクセサリはつけない。

⑦爪は短く切り、ネイルアートやマニキュアはしない。

(2)個人情報の取扱い：別紙の個人情報取り扱いルールを遵守すること。

#### (4)放射線管理区域への立入について

①放射線管理区域に立入るため、放射線診療従事者として登録する。登録の際は、教育訓練の受講が義務付けられているため、第4学年前期「画像・臨床検査診断学」の「放射線安全」の講義に必ず出席すること。この講義の出席をもって、教育訓練を受講したこととみなす。また、第5学年新年度ガイダンスにも必ず出席すること。ガイダンス時に教育訓練を実施する。

その他、大学で実施する健康診断を年2回（前期・後期）必ず受診すること。教育訓練の受講と前期健康診断を受診したことをもって、個人線量計を配布する。

②大学病院内で実習中は個人線量計2個を常時身に付けること。個人線量計は毎月交換し、紛失しないよう努めること。紛失した場合、個人線量計の費用は自己負担とする。

#### (5)マナー

①エレベーター、廊下、エスカレーター等は、常に患者、患者家族、医療従事者優先である。エレベーター等に自分が先に乗っていても、進んで譲ること。正面玄関奥のシースルーのエレベーターは、患者の付き添い時などを除き、学生の使用禁止とする。

②病棟内の飲食は厳禁とする。

③ユニフォーム着用のままキャンパス外に出ることは厳禁とする。

#### (6)学生による授業評価について

①臨床各科の実習最終日に Google Classroom 上で各自授業評価を行う。

②評価表の集計結果を、科目責任者、教育委員会、教授会に報告する。

③科目責任者は、評価表の集計結果を踏まえ、担当教員に授業改善策を示す。

#### (7)欠席する場合

**やむを得ず臨床実習を欠席する際は、必ず教務課及び各科の教育担当の先生に連絡をすること。**

なお、朝の集合時間が早く教務課と連絡が取れない場合は、班員から各科の教育担当の先生に報告を入れ、その後教務課にも知らせ、後日、欠席届を教務課に提出すること。卒後研修のための病院見学で欠席する場合は実習のない日を強く推奨するが、やむを得ない場合には希望する見学日程1ヶ月前または見学日程が分かった日いずれか早い方で、速やかに教務課へメールにて「希望する病院見学の日程」「見学する病院名」「欠席を予定する期間」を連絡すること。教務課より参加予定の診療科へ確認した上で、参加予定の診療科より了承を得られた場合のみ病院見学への参加を認める。この事前連絡を怠った場合、病院見学は許可されない。また、病院見学後は、見学内容が分かる資料（先方の病院からのメールや見学当日の配付資料など）と欠席届を医学部教務課へ提出すること。教員の了承を得ず欠席した場合は無断欠席の取り扱いとし、この欠席は「アンプロフェッショナルな言動」の対象となる場合がある。なお、病院見学時における事故等については保険の補償範囲外となるため十分に注意すること。

上記すべての注意事項を守れない者は、臨床実習不合格になる場合がある。

#### (8)アンプロフェッショナルな言動について

臨床実習では医師が持つべき高い倫理観や社会常識を持って行動しなければならない。これらに反する言動はアンプロフェッショナルな言動として指導の対象となる。アンプロフェッショナルな言動およびそれに対する対応は別に配布する文書に記してあるので内容をよく理解し、問題となる言動は厳に慎むこと。